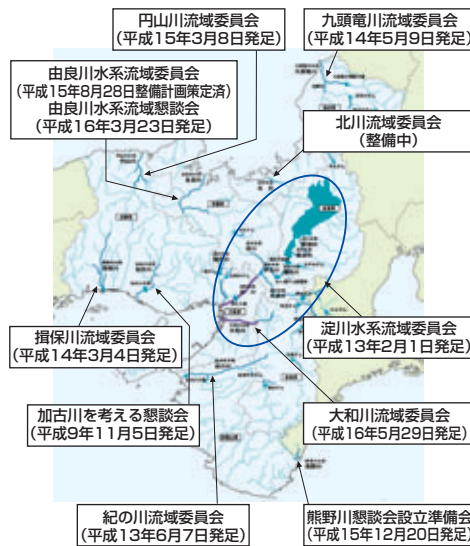


## 河川の特徴と地域の声を活かした河川整備計画の策定 学識経験者・住民・関係自治体等の意見反映

近畿地方整備局では、河川空間の整備と保全を求める地域の声に、よ的確に応え、流域の特性や地域の風土・文化等の実情に応じた河川整備を推進し、川との共存共栄を図るためには、流域との連携が不可欠であると考えています。そのため、河川整備計画を策定するにあたり、全ての直轄河川において学識経験者で構成される流域委員会等を設置（予定含む）し、審議の内容や審議に至る一連の経過を広く地域に提供して、住民や関係自治体の幅広い意見を反映させるための新しい取り組みを積極的に導入しています。

### 流域委員会等の設置状況



住民対話集会

### 地域の意見を反映させるための取り組み

淀川水系の住民説明会 (H16.2末現在)

住民説明会 (H14.2.16~)	回数(回)	41
	参加人数(人)	2,721
自治体説明会 (H14.12.22~)	回数(回)	197
関係団体説明会 (H14.12.22~)	回数(回)	48

## みんなと<sup>2</sup>づくり (みんなとみなとづくり) 地域振興に役立つみなとづくり

物流、産業、生活、あらゆる機能があるみなと空間も、地方行政、地域住民の意見を十分取り入れた、また住民との協働による地域づくりが求められています。そのために、みなとが地域にどのように関わっているかを理解していただくことも重要です。このような視点からの取り組みを進めます。

### みなとまちづくりの推進

みなとは背後のまちと一体となって発展してきた経緯があります。これからも、みなとが地域の振興にどのように役に立っていけるのか、地域の市民レベルでの活動を支援する取り組みを行っていきます。

### 港湾懇談会

港湾所在の地方行政を預かる立場の方々、地域ごとに臨海部が果たすべき役割について、直接懇談の場を設けて、意見交換を図っています。

このほかにも、フォーラム等の開催に

よるみなとづくりの意見交換の促進、総合学習支援を通じたみなとの役割紹介といった取り組みを進めます。



みなとまちづくり



港湾懇談会



フィールドワーク



マリンレディースフォーラム